

<b>サーモス 真空断熱ポット コーヒーメーカー保証書 持込修理</b>			
品番	ECF-701	保証対象	本体のみ 保証期間 お買い上げ日より1年
★ お 客 様	お名前	様	★お買い上げ日
	ご住所 〒		年 月 日
	☎	★販売店	住所・店名
修理メモ			

### 無料修理規定

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と製品をご用意の上、お買い上げの販売店、または「サーモスお客様相談室」に修理をご相談ください。尚、修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがありますが、ご了承ください。

★印欄に記入がない場合は無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また、本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

#### 1. 保証期間内でも次の場合には有料になります。

- (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
- (ハ) 火災、天災地変(地震、風水害、落雷など)、塩害、虫害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。
- (ホ) 本書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
- (ヘ) 一般家庭用以外(たとえば業務用など)に使用された場合の故障、損傷。
- (ト) ご使用による汚れ、キズ。
- (チ) 消耗部品の交換。

#### 2. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

#### 3. ご転居の場合や、ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼に出来ない場合には、下記「サーモスお客様相談室」へご相談ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従いまして、この保証書により、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明な場合は、お買い上げの販売店、または下記サーモスお客様相談室へご相談ください。

## お問い合わせ

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などがございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

### サーモス株式会社

### サーモスお客様相談室



**0570-066966**

ナビダイヤル ※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ 0256-92-6696

受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地

サーモス株式会社 お客様相談室

●製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。

ホームページアドレス <http://www.thermos.jp/>

※お預かりした個人情報は、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。利用目的以外には、お客様の同意なしに第三者に開示提供することはありません。なお、お客様の個人情報はサーモス(株)にて管理させていただきます。

# THERMOS

## サーモス 真空断熱ポット コーヒーメーカー

品番：ECF-701

# 取扱説明書

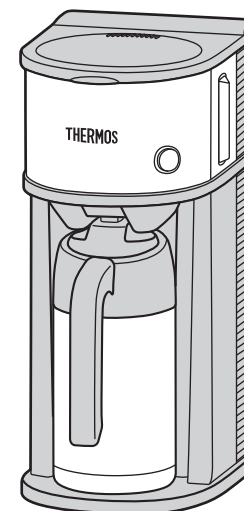
家庭用

このたびは、サーモス「真空断熱ポット コーヒーメーカー」をお買い上げいただきありがとうございます。

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。そして、いつでも取り出せるところに大切に保管し、ご使用上で不明な点などをご確認ください。

### 保証書付き

保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。



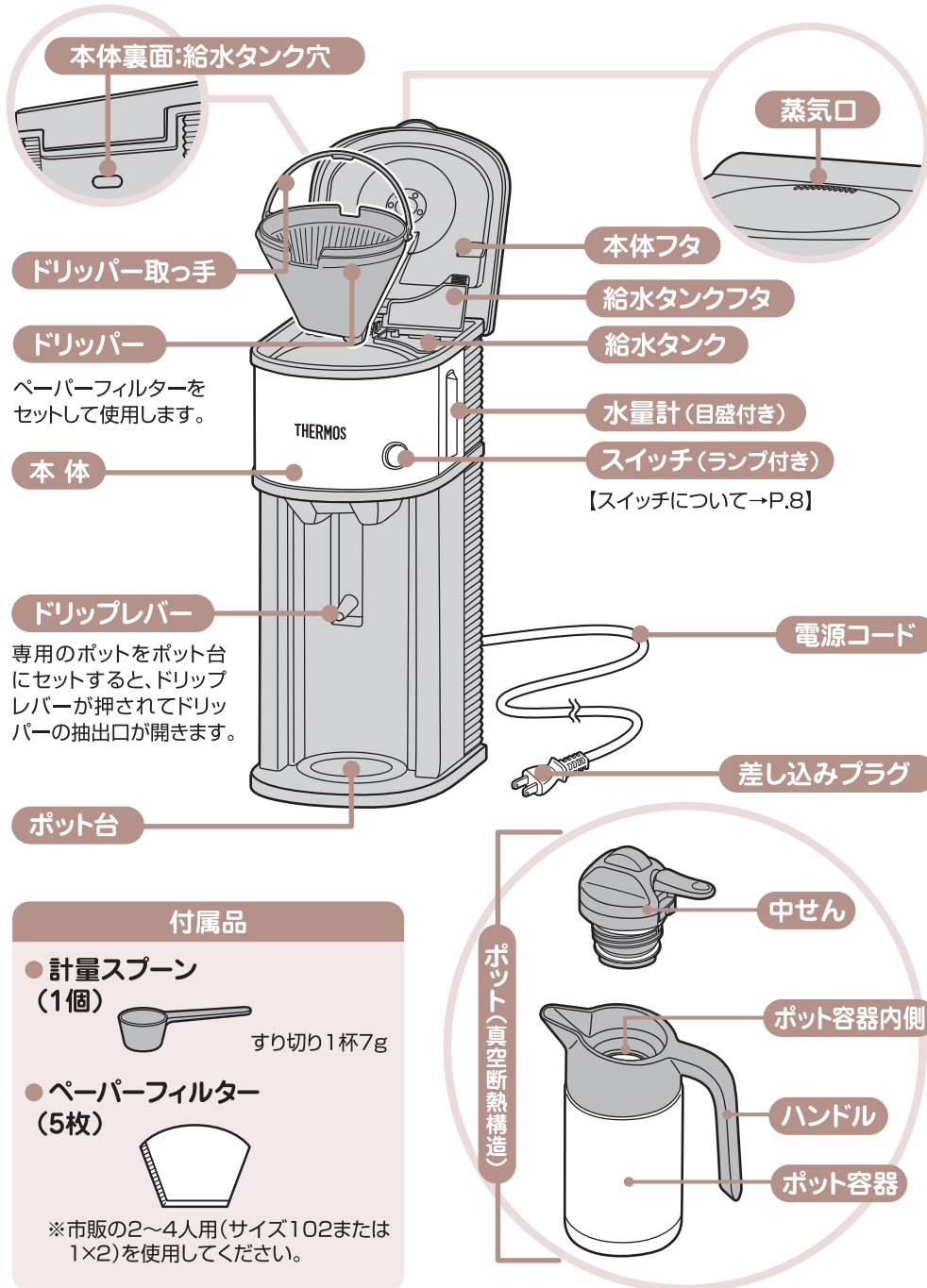
市販のペーパーフィルターは、2～4人用(サイズ102または1×2)を使用してください。

## 目次

各部のなまえとはたらき	P1
ご注意とお願い	P2～P6
使い方とポイント	P7～P10
中せんについて	P11
お手入れ方法	P12
お手入れ上の注意	P12
こんなときは	P13
本体の内部をお手入れする際は	P13
仕様／交換用部品のご案内	P14
保証とアフターサービスについて	P14
保証書／お問い合わせ	P15

## 各部のなまえとはたらき

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



P1

## ご注意とお願い

ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

### 表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区別しています。

**警告** 死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。

**注意** 軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

### ■図記号について

禁止  
 分解禁止  
 接触禁止  
 ぬれ手禁止  
 水ぬれ禁止

してはいけない内容を表しています。

必ずおこなう  
 差し込みプラグを抜く

必ずお守りいただく内容を表しています。

## 安全上の注意

<b>警告</b>		
子供だけで使用させないでください。また乳幼児の手の届くところで使用しないでください。 やけどや感電、けがの原因になります。		<b>禁止</b> 電源コードや差し込みプラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるい場合は使用しないでください。 感電・ショート・発火・火災の原因になります。
分解・修理・改造は絶対しないでください。 発火・火災・感電・けがの原因になります。(修理はお買い上げの販売店、または「サーモスお客様相談室」にご相談ください。【P.15】)		<b>禁止</b> 電源コードは傷つけたり、破損したまま使用したりしないでください。 加工する・無理に曲げる・高温部に近づく・引っ張る・ねじる・たばねる・重いものを載せる・挟み込むなどの扱いは、発火・火災・感電の原因になります。
電源は交流100V <sup>※</sup> 以外を使用しないでください。 発火・火災・感電の原因になります。		<b>必ずおこなう</b> 差し込みプラグは根元まで確実に差し込んでください。 感電・ショート・発火・火災の原因になります。
定格15A <sup>※</sup> 以上のコンセントを単独で使用してください。 タコ足配線をしたり、他の器具と併用したりすると、分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因になります。		<b>ぬれ手禁止</b> ぬれた手で差し込みプラグの抜き差しをしないでください。 感電・けがの原因になります。
小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かないでください。 誤飲して窒息の原因になります。		<b>禁止</b>

P2

## 安全上の注意

### 警告

ドリップ中やドリップ後しばらくは、蒸気口・フタ・ドリッパーなどの高温部にふれたり、顔などを近づけたりしないでください。  
やけどの原因になります。



接触禁止

差し込みプラグの刃(プラグ先端)および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭き取ってください。  
発火・火災の原因になります。



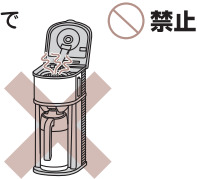
必ずおこなう

流し台など、水にぬれやすい場所やぬれている場所には置かないでください。  
ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

ドリップ中はフタを開けないでください。  
やけどの原因になります。



禁止

コンセントから抜く際は、必ず差し込みプラグを持ってください。  
感電・ショート・発火・火災の原因になります。



必ずおこなう

水につけたり、水をかけたりしないでください。  
ショート・感電の原因になります。



水ぬれ禁止

使用時以外は差し込みプラグをコンセントから抜いてください。  
やけどやけが、絶縁劣化による感電・漏電し、発火・火災の原因になります。



差し込みプラグを抜く

ポットは絶対に火にかけないでください。  
ハンドルに火が燃え移り、火災の原因になります。



禁止

### 注意

コーヒーのドリップ以外の用途に使用しないでください。  
けがなどの原因になります。

禁止

ポットは電磁調理器(IHクッキングヒーター)で使用しないでください。  
やけどや破損の原因になります。

禁止

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。  
やけどや変形、故障の原因になります。



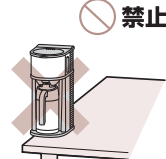
禁止

ポットを確実にセットしてからスイッチを押してください。  
コーヒーがあふれて、やけどやテーブルなどを汚す原因になります。

必ずおこなう

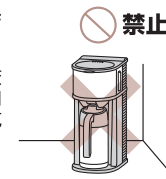
### 注意

不安定な場所や、熱に弱いテーブル・敷物などの上で使用しないでください。  
転倒してやけどやものを汚す原因になります。またテーブル・敷物の変色・変形の原因になります。



禁止

壁や家具の近くで使用しないでください。  
蒸気または熱で壁や家具を傷め、変色・変形の原因になります。キッチン用収納棚などで使用する際は、中に蒸気がこもらないようにご注意ください。



禁止

ポットをセットした状態で本体を動かさずにください。  
やけどやけが、ものを汚す原因になります。



禁止

専用のポット以外は使用しないでください。  
コーヒーがドリッパーからあふれて、やけどや故障の原因になります。



禁止

ポットは空の状態でも本体にセットしてください。  
コーヒーがあふれて、やけどやテーブルなどを汚す原因になります。

必ずおこなう

本体のお手入れは、冷めてからおこなってください。  
高温部にふれると、やけどの原因になります。



禁止

食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。  
熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚したり、故障の原因になります。

禁止

ポットはハンドルを正面に向けて本体にセットしてください。  
コーヒーがこぼれて、やけどやテーブルなどを汚す原因になります。

必ずおこなう

空だき(給水タンクに水を入れずにスイッチを押す)はしないでください。

禁止

空だきの状態で給水タンクに水を入れると、蒸気がふき出してやけどや変形、故障の原因になります。

ドリップ中にポットを外さないでください。  
コーヒーがこぼれて、やけどやテーブルなどを汚す原因になります。

禁止

水量計の目盛「5」以上の水を入れしないでください。

禁止

給水タンク穴から水があふれたりコーヒーがポットからあふれたりして、やけどやものを汚す原因になります。

続けて使用するときは、本体が冷めるまで(約10分)待ってください。

必ずおこなう

すぐにフタを開けたり、本体を動かしたり、給水タンクに水を入れたりすると、蒸気がふき出してやけどの原因になります。

煮沸はしないでください。

禁止

熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚したり、故障の原因になります。

倒す・落とす・ぶつけるなどの強い衝撃を与えないでください。

禁止

破損してやけどやけが、故障の原因になります。



ポットの中せんは3つのパッキンを正しく取り付けてください。またレバーとハンドルがそろった位置まで確実に閉めてください。  
【P.8・11】  
漏れて、やけどやものを汚す原因になります。

必ずおこなう

## 安全上の注意

### ⚠ 注意

ポットに熱いコーヒーを入れた場合、次の点を必ず守ってください。

●直接飲まないでください。  
やけどの原因になります。



禁止

●傾けた状態、または顔などを近づけた状態で中せんのレバーを絶対に押さないでください。  
コーヒーが勢いよく出てやけどなどの原因になります。



禁止

●カップなどに注ぐときはポットを急に傾けないでください。  
コーヒーが勢いよく出てやけどなどの原因になります。



禁止

●中せんを取りはずすときは、いったんレバーを押して、蒸気を逃がしてから取りはずしてください。  
コーヒーや蒸気が勢いよく出て、やけどなどの原因になります。



必ずおこなう

給水タンクに水を入れた状態で持ち運ばないでください。  
漏れてものを汚す原因になります。



禁止

ポットは中せんのレバーを押した状態で持ち運んだり、キャップ・レバーを持って運んだりしないでください。  
やけどや中せんの破損の原因になります。



禁止

給水タンクに水を入れた状態で長時間放置しないでください。  
腐敗や故障・変色・においの原因になります。



禁止

ポットは電子レンジで使用しないでください。  
スパークして電子レンジが故障する原因になります。また熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚す原因になります。



禁止

ポットの中せんを組み立てた後は、レバーを数回押し、シャフトが正常に動くことを確認してください。



必ずおこなう

正しく組み立てられていないと、作動不良や漏れてやけどやものを汚す原因になります。

ポットにコーヒーを入れた状態で長く放置しないでください。



禁止

腐敗や変質の原因になります。また、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、中せんが開かなくなる・飛び出す、コーヒーがふき出るなどして、けがやものを汚す原因になります。

コーヒーを注ぐときは、ポットをまっすぐ立てた状態で中せんのレバーを押してから注いでください。



必ずおこなう

ポットを傾けた状態でレバーを押すとコーヒーや蒸気が勢いよく出て、やけどの原因になります。

ポットはレバーを押した状態で注ぎ口以外の方向に傾けないでください。  
注ぎ口以外から漏れて、やけどやものを汚す原因になります。



禁止

製品には必ず専用の部品を取り付けてください。  
漏れてやけどやものを汚す原因になります。



必ずおこなう

アイスコーヒーを作る際、大きな氷は押し込まずに小さくしてから入れてください。



必ずおこなう

ポットの口元が変形して、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

ドリッブする際は、ドリッパー・ペーパーフィルターを必ずセットしてください。



必ずおこなう

コーヒーがこぼれて、やけどやテーブルを汚す原因になります。



## 使用上のお願い

ポットに次のものは入れないでください。

- ドライアイス・炭酸飲料
- 牛乳・乳飲料・果汁など腐敗しやすいもの
- みそ汁・スープなど塩分を多く含んだもの
- お茶の葉・果肉



給水タンクに水以外のもの（お湯・牛乳など）を入れしないでください。  
変形など故障の原因になります。



中せんを取り付けたり取りはずしたりする際は、キャップを持っておこなってください。  
レバーを持っておこなうと破損の原因になります。

コーヒー粉を入れる際は、給水タンクフタが閉まっていることを確認してください。  
給水タンクにコーヒーが入り、詰まって故障の原因になります。

コーヒー粉を計量スプーン5杯より多く入れると、コーヒーなどがあふれることがありますので、ご注意ください。

他の電気機器に蒸気が当たる場所で使用しないでください。  
故障・変色・変形の原因になります。

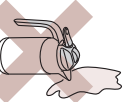


コーヒー粉は粗挽き・中挽きなどコーヒーマーカーに適したものを使用してください。  
細挽きのコーヒー粉を使用すると、コーヒー粉がドリッパーからあふれたり、ペーパーフィルターに詰まったり、ポット内のコーヒーに混入したりする原因になります。

業務用として使用しないでください。  
故障の原因になります。

ポットを持ち運ぶときは、ハンドルを持ってください。

ポットは横転させないでください。  
レバーが床に当たるなどして押された場合、コーヒーが流出する原因になります。



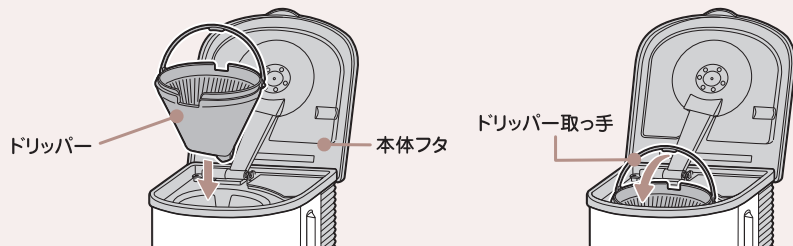


## 使い方とポイント

- この取扱説明書では、コーヒー豆を挽いた後のものをコーヒー粉と表記しています。
- はじめてご使用になるときや、長期間使用せずに保管されていたときは、本体以外の部品を洗い【P.12】コーヒー粉やペーパーフィルターを使用しないで、水だけで下記使い方①、④、⑤、⑥、⑦の手順通りに数回ドリップしてください。
- 使いはじめのうちは樹脂などのおいがすることがありますが、ご使用とともに少なくなります。

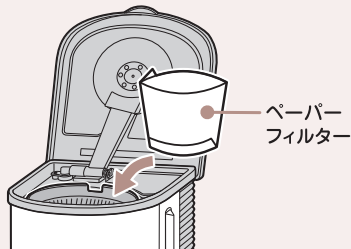
### 1 本体フタを開け、ドリッパーをセットする

- ① 本体フタを開け、ドリッパーを確実にセットします。
- ② ドリッパー取っ手を手前に倒します。

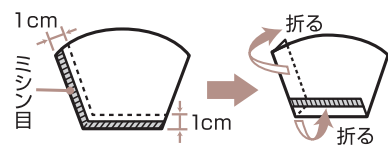


### 2 ペーパーフィルターをドリッパーにセットする

ペーパーフィルターをドリッパーに沿わせてセットします。



ペーパーフィルターは、ミシン目から約1cm内側を図のように折ります。



■市販の2~4人用(サイズ102または1×2)を使用してください。

### 3 コーヒー粉を入れて、上面をならす

付属の計量スプーンでコーヒー粉をペーパーフィルターに入れて、上面を平らにします。



■粗挽き・中挽きのコーヒー粉を使用し、細挽きものは使用しないでください。

#### コーヒー粉を入れる目安

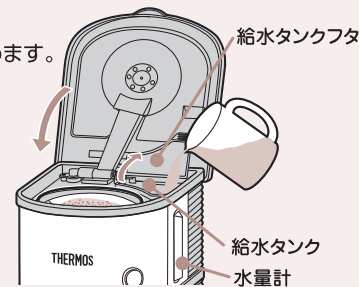
カップ数	3杯	5杯
コーヒー粉 (計量スプーン すり切り7g)	3杯 (21g)	5杯 (35g)

■カップ1杯約110mlができ上がりの目安です。コーヒー粉の量はお好みにより加減してください。  
\*コーヒー粉を計量スプーン5杯より多く入れると、コーヒーがあふれることがありますのでご注意ください。

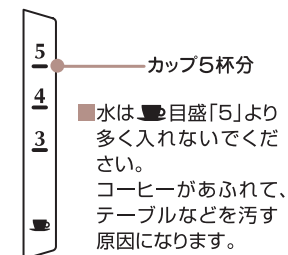
### 4 給水タンクに水を入れてフタを閉める

- ① 給水タンクフタを開けます。
- ② ピッチャーなどの容器で作りたいコーヒー量の目盛まで水を入れます。
- ③ 給水タンクフタを閉めます。
- ④ 本体フタを閉めます。

■お湯は入れないでください。ドリップが停止する原因になります。



#### 水量計の目盛

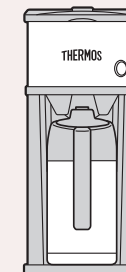


### 5 ポットを本体にセットする

- ① ポットの中せんをレバーとハンドルがそろった位置まで閉めます。
- ② ポットをハンドルが正面を向くようにして、本体のポット台の奥まで確実にセットします。



Point!  
ポット容器に少量の熱湯を入れ、1分程度予熱すると保温に効果的です。



■必ず専用のポットを使用してください。

### 6 差し込みプラグをコンセントに差し込む

差し込みプラグを持って、奥まで確実に差し込みます。

### 7 スイッチを押す

本体フタが開まっていることを確認し、スイッチを押します。



#### スイッチについて

- ドリップ終了後(ランプが消えた後)ヒーターが冷えるまでの間はスイッチを押しても作動しません。
- スイッチは「ON」専用です。ドリップを中止するときは、差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

#### できあがり(ランプが消える)時間の目安

カップ数	3杯	5杯
時間	約3.5分	約6分

できあがり時間は水温などにより前後します。

## 使い方とポイント

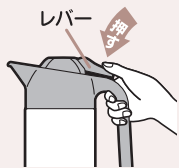
### 8 できあがったら

ランプが消えてから1~2分後、ポットを取り出します。

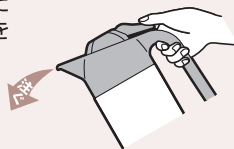
■ドリッピング中やドリッピング後は、蒸気口・フタ・ドリッパーなどの高温部にふれたり、顔などを近づけたりしないでください。やけどの原因になります。特に乳幼児にはご注意ください。

### 9 コーヒーをカップに注ぐ

①ポットのハンドルを持ち、本体を立てた状態でレバーを押します。



②レバーを押したままコーヒーを注ぎます。



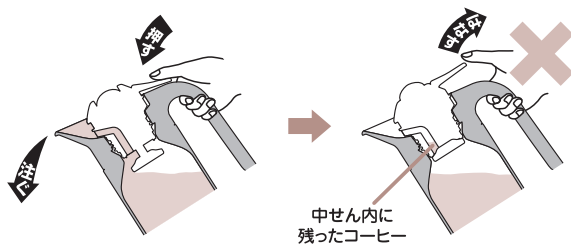
③注ぎ終わったら本体を立てた状態にもどします。



④レバーをはなします。



■注いだ後、ポットを傾けた状態でレバーをはなすと、中せん内にコーヒーが残り、漏れややけどの原因になりますのでご注意ください。



- ドリッピング直後のポット内のコーヒーは高温になっていますので、お飲みの際はやけどにご注意ください。
- ポットは真空断熱構造ですが、コーヒーは時間の経過や内容量の減少にともない冷めていきますので、お早めにお飲みください。

### 10 ご使用後は

- ①本体が冷めてから(ランプが消えてから10分以上経過後)本体フタを開け、ドリッパーを取り出して、コーヒー粉を捨てます。
- ②本体フタを閉めます。
- ③コンセントから差し込みプラグを抜きます。

P9

### 11 続けて作る時は…

- ①本体が冷めるまで(約10分)待ちます。
- ②P7~P9の手順で再度ドリッピングします。

■すぐに水を入れたり、動かしたりしないでください。蒸気がふき出してやけどの原因になります。



### コーヒーをおいしく味わうためのポイント

#### ■コーヒーを豆で購入する場合

煎ってから時間がたつと香りがとびやすいので、1週間から10日程度で使い切る量を購いましょう。また飲むたびに必要分だけミルで挽いてドリッピングするとよいでしょう。

#### ■コーヒー豆やコーヒー粉を保存するとき…

コーヒー豆やコーヒー粉は高温多湿に弱く香りがとびやすいので、密閉容器に入れて冷暗所で保存しましょう。

#### ■保温効果を高めるために…

ポットはあらかじめ少量の熱湯で予熱すると効果的です。少ないカップ数で作ると、ポット内のコーヒーが冷めやすくなりますので、コーヒーは3杯以上を目安に作ってください。

## アイスコーヒーの作り方

ホットコーヒーと同じ手順で作ります。【P.7~9】

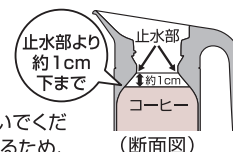
アイスコーヒーはアイスコーヒー用の粉、または深煎りのコーヒー粉を使用し、濃いめに作ります。

コーヒー粉・水・氷の量の目安		
コーヒー粉 (計量スプーン すり切り7g)	水	氷
約5杯(35g)	目盛3	ポットの 6~7分目

■コーヒー粉と氷の量は目安ですのでお好みにより加減してください。

■水は目盛3より多く入れないでください。ポットに氷が入っているため、コーヒーがあふれて、テーブルなどを汚す原因になります。

※ドリッピング後、コーヒーの量が右図の位置までになるようにしてください。



(断面図)

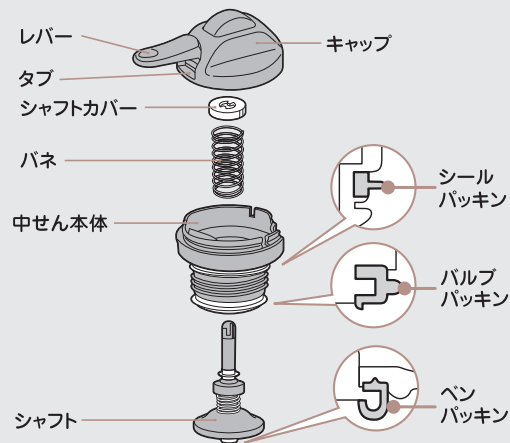
- ①本体フタを開け、ドリッパーとペーパーフィルターをセットします。
- ②コーヒー粉を入れて、上面を平らにならします。
- ③給水タンクフタを開けて水を入れ、給水タンクフタを閉めます。
- ④ポットに氷を入れて中せんを取り付け、ポット台にセットします。
- ⑤本体フタを閉め、スイッチを入れてコーヒーをドリッピングします。
- ⑥ランプが消えてから1~2分後、ポットを取り出します。
- ⑦ポットを左右に軽く振って1~2分置いてから、氷を入れたグラスに注ぎます。

P10

## 中せんについて

中せんはシャフトをはずして洗うことができます。中せんを組み立てた後は、レバーを数回押し、シャフトが正常に動くことを確認してください。

### 各部のなまえとパッキンの取り付け方



パッキンは図の位置に全周にわたってはめ込みます。取り付け後は、パッキンが浮かないように指でまんべんなく押します。

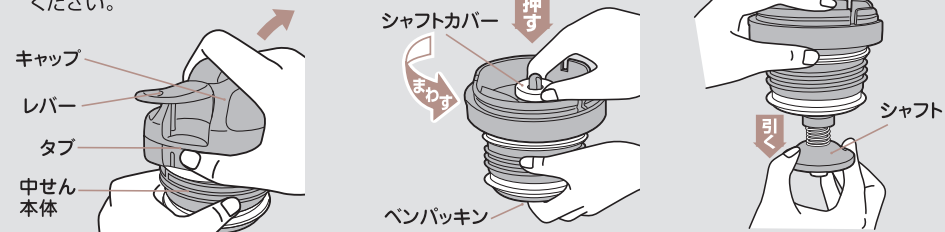
■バルブパッキンとベンパッキンはシャフトをはずすと取り付けやすくなります。

■正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

### シャフトのはずし方

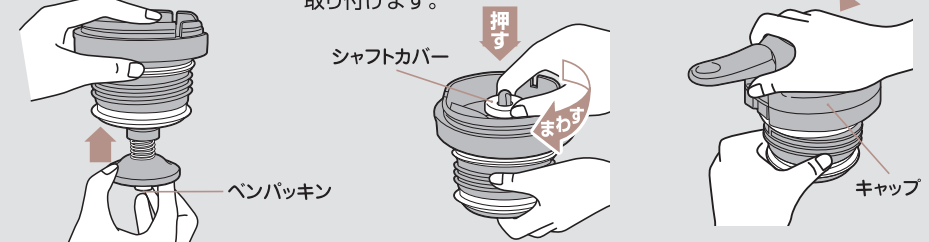
- ①タブに親指をかけて押し上げ、中せん本体からキャップをはずします。
- ②ベンパッキンを指で押さえながら、シャフトカバーを押し下げた状態で90度左方向にまわします。
- ③シャフトカバーとバネをはずし、シャフトを下に引いてはずします。

■レバーを持ってはささないでください。



### シャフトの取り付け方

- ①ベンパッキンを押さえながらシャフトを中せん本体に差し込みます。
- ②バネ、シャフトカバーの順にセットし、シャフトカバーを押し下げた状態で90度右方向にまわし、シャフトに取り付けます。
- ③キャップを中せん本体に取り付けます。



## お手入れ方法

臭いや汚れ・カビを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は、下表に従って漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- コーヒーがすが本体・部品に残っていると酸化し、次に使用するときにはコーヒーの風味を損なう原因になりますので、すみずみまで洗いなおし、お手入れをしてください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
コーヒーメーカー本体	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 布で拭き取り</li> <li>× 流水洗い</li> <li>× つけ洗い</li> <li>× 漂白剤</li> </ul>	洗剤をやわらかい布に含ませ、かたくしぼって拭いた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。 本体内部をお手入れする際は、P.13 <b>本体内部をお手入れする際は…</b> を参照してください。
中せん	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 酸素系漂白剤</li> <li>× 塩素系漂白剤</li> </ul>	きれいに洗い、水滴が残らないように数回振った後、十分乾燥させてください。 中せんはシャフトをはずして洗うことができますので、お手入れの後は正しく組み立ててください。【P.11】 また、3つのパッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。【P.11】
ドリッパー・ポット容器(内側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>○ つけ洗い</li> <li>○ 酸素系漂白剤</li> <li>× 塩素系漂白剤</li> </ul>	ボトルブラシやスポンジできれいに洗い、十分乾燥させてください。 ポット容器に酸素系漂白剤を使用する場合は中せんを取り付けしないでください。 *ポット容器の内圧が上がり、中せんが飛び出すなど危険です。
ポット容器(外側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流水洗い</li> <li>× つけ洗い</li> <li>× 漂白剤</li> </ul>	きれいに洗い、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。

## お手入れ上の注意

- 本体のお手入れは、冷めてからおこなってください。  
\*高温部に触れると、やけどの原因になります。
- 本体は水につけたり、水をかけたりしないでください。  
\*ショート・感電の原因になります。
- 煮沸はしないでください。  
\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚したり故障の原因になったりします。
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。  
\*熱により部品が変形し、漏れてやけどやものを汚したり、故障の原因になったりします。また塗装・印刷シールなどはがれの原因になります。
- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。  
\*さびや傷・故障などの原因になります。
- ドリッパー・ポット・中せんは塩素系漂白剤を使用しないでください。  
\*傷やさび、保温・保冷不良などの原因になります。また中せんの故障の原因になります。
- ポット容器の外側は漂白剤を使用しないでください。  
\*印刷・シールなどはがれの原因になります。
- ポット容器は水中に放置しないでください。  
\*すきまに水が浸入し、さびや保温・保冷不良などの原因になります。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水を使用した場合は、よりこまめにお手入れしてください。  
本体内部にカルシウムが附着しやすくなったり、附着したカルシウムがはがれて本体内部のお湯や蒸気の出口をふさぐなど、故障の原因になります。【P.13 **本体内部をお手入れする際は…**】



こんなときは… 分からないことがありましたら、以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
スイッチを押してもランプがつかない	コンセントから差し込みプラグがはずれている	差し込みプラグはコンセントに確実に差し込んでください。【P.8-⑥】
	ドリップ終了直後にスイッチを押している	ドリップ終了後、本体が冷めるまではスイッチを押しても作動しません。本体が冷めるまで(約10分)待ってください。
ドリップができない コーヒーができない	コーヒー粉、または水が入っていない	コーヒー粉・水を入れてください。【P.7、P.8】
	スイッチが入っていない・ランプがついていない	スイッチを入れて、ランプがついたことを確認してください。【P.8-⑦】
ドリップに時間がかかる	湯あかが付着し、お湯の出が悪くなることがあります。 下記「本体内部をお手入れする際は…」の要領で湯あかを取り除いてください。	
ポットからコーヒーがあふれる	給水タンク内の水量が多すぎる	水は水量計の目盛「5」より多く入れないでください。【P.8-④】
コーヒーがポットの外にドリップされる	ポットをポット台に正しくセットしていない	ポットは中せんを正しく取り付け、ハンドルが正面を向くようにポット台の奥まで確実にセットしてください。【P.8-⑤】
中せんからコーヒーが漏れた	中せん内部にコーヒーが残っている	ポットを立てた状態でレバーを押して、注ぎ残しのコーヒーを戻してください。【P.9-⑨】
	パッキンがはずれている、確実に取り付けられていない、または逆向きに取り付けられている	3つのパッキンは正しい位置に確実に取り付けてください。【P.11】
	中せんやパッキンが消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【P.14】
コーヒーがぬるい 保温が効かない	コーヒーの量が少ない	コーヒーは多めに作ってください。また、あらかじめポット容器内側を予熱しておくとう効果的です。【P.8-⑤】
	長時間保温している	ポットは真空断熱構造ですが、時間の経過や内容量の減少とともに冷めていきますので、お早めにお飲みください。
中せんのレバーが戻らない	シャフトがはずれている	シャフトを正しく取り付けてください。【P.11】
	中せんが破損・消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。【P.14】
ポット容器内側が変色した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。【P.12】
	斑点状の赤いさびが付着している	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたため湯をポット容器に入れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものが付着している	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を1~2%程度入れたため湯をポット容器に入れ、中せんを取り付けずに約3時間後によく洗ってください。
ポットを振るとシャラシャラという音がする	保温(保冷)効果を高めるために真空二重構造の内部(真空層)に入れている金属箔がこすれて音がすることがあります。異常ではありません。	
スイッチを押していないのにランプがついた	ただちに差し込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサーモスお客様相談室にご相談ください。【P.15】	

※上記のいずれの項目にもあてはまらない場合は、「サーモスお客様相談室」にご相談ください。【P.15】

本体内部をお手入れする際は…

湯あかが付着し、お湯の出が悪くなることがあります。次の方法で取り除いてください。

- ① ビッチャーなどの容器にクエン酸1~2%程度と水を入れてよく混ぜます。
- ② 給水タンクに①を入れて、ドリッパー・ポットを本体にセットし、スイッチを入れてドリップします。
- ③ ドリップが終わったら、ポットを取り出してクエン酸水を捨てます。
- ④ ポットをセットし、本体が冷めたら(約10分後)、水だけでドリップしてクエン酸のにおいを取ります。(においが取れない場合は、④を数回繰り返します。)

※クエン酸は食品添加物につき食品衛生上無害です。

仕様

品名	真空断熱ポット コーヒーメーカー	保温装置	無し
品番	ECF-701	最大使用水量	0.63L
電源	交流100V 50/60Hz	外形寸法	約幅15.5×奥行25(ポットハンドル部含む)×高さ35.5cm
消費電力	650W	質量	約2.2kg(ポット含む)
抽出方式	ドリップ式	電源コードの長さ	約1.5m

交換用部品のご案内

■本製品の各部品は下表の交換用部品名で別売しています。

各部のなまえ	交換用部品名
ポット	ECF ポット(中せん付き)
中せん	ECD 中せん(中せんパッキンセット付き)
中せんパッキンセット	ECD 中せんパッキンセット (シールパッキン・バルブパッキン・ベンパッキン各1個ずつ)
ドリッパー	ECF ドリッパー
計量スプーン	ECF 計量スプーン

◆中せん、パッキンは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、表面にザラつきや損傷のある場合は、交換してください。

【交換用部品のお求め方法】

- ① ホームページ  
サーモスオンラインショップ(交換用部品販売)からお求めください。  
(取り扱い部品に限られておりますが、ご了承ください。)
- ② 販売店  
サーモス製品を取り扱っている販売店でお取り寄せください。
- ③ サーマスお客様相談室  
お電話でお申し込みください。【P.15】

保証とアフターサービスについて

- 修理を依頼される前に「P.13こんなときは…」をお読みになり、お確かめください。
- 不具合が改善されない場合は、お買い上げの販売店、または「サーモスお客様相談室」にご相談ください。【P.15】

保証書の内容のご確認と保管のお願い

- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店からお受け取りください。また内容をよくお読みの上、大切に保管してください。

保証期間は**お買い上げ日から1年間**、保証対象は**コーヒーメーカー本体のみ**です。  
消耗部品は保証期間内でも「有料修理」とさせていただきます。

修理を依頼されるときは

ご相談の際は次の事をお知らせください。①品名 ②品番 ③製品の不具合状況(できるだけ詳しく)

保証期間内……………製品に保証書を添えて、お買い上げの販売店にご持参ください。または「サーモスお客様相談室」にご相談ください。保証書の規定により無料修理いたします。

保証期間を過ぎているとき…修理できる場合はお客様のご要望により有料修理いたします。  
お買い上げの販売店、または「サーモスお客様相談室」にご相談ください。

部品について

- コーヒーメーカーの補修用性能部品の保有期間は**製造打ち切り後5年**です。(補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。)
- 製造時期は本体裏側に表示されています。修理のために取りはずした部品は、特別のお申し出がない場合は弊社に引き取らせていただきます。

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を!



愛情点検

- ご使用中電氣コードや差し込みプラグが異常に熱い。
- コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- いつもより異常に熱くなったり、コゲ臭いにおいがする。
- 製品に触れるとビリビリと電氣を感じる。
- 本体から水が漏れる。
- スイッチが自動的に切れない。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中 止

故障や事故防止のため、差し込みプラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店、または「サーモスお客様相談室」へご相談ください。  
【P.15「お問い合わせ」】